

日本共産党

# 豊島区議団ニュース

発行所：日本共産党豊島区議団 東京都豊島区東池袋1-18-1 豊島区役所内 TEL.(3981)1429 FAX.(3590)4650

## 区民の願いにこたえて奮闘

### 介護保険料が下がります

豊島区では65歳以上の方は4月から介護保険料が下がります。日本共産党区議団は機会あることに、保険料を引き下げよ」と主張してきました。今回の保険料引き下げは区民と日本共産党との運動の成果です。

### 介護保険は問題が山積み

保険料は下がったとはいえ、まだ高すぎます。保険料減免制度も不十分です。また、06年の改悪では、要介護1の方からベッドや車椅子をとりあげるなど、サービスが削減されています。

### 4月からの制度改悪も厚生労働省は4月から、調査マニュアルの改悪や認定審査会の関与を減らし、要介護認定を軽度にしよとしていま

また、介護従事者の待遇、介護報酬を引き上げますが、給与引き上げに十分とはいえません。区の特別養護老人ホームの待機者は昨年11月末で1053人もいます。群馬県の無届けの高齢者施設で焼死者をだす痛ましい事件が起きました。社会保障費削減で特養ホームが不足し、低所得の方が犠牲になったのです。特養ホームの増設は急務です。サービスが増えると利用料や保険料も増えるのが介護保険の根本的問題です。区議団は、引き続き、安心して介護を受けられるよう制度改革に取り組みます。

### 「保育所が足りない」待機児解消に全力

新年度になった4月、豊島区の認可保育園に入所できなかった子どもは160名にものぼりました。

区は、昨年4月に待機児が58名になったため、国から「保育計画」策定を義務付けられました。

ところが策定した計画は不十分のために待機児をさらに増やす結果となりました。

日本共産党区議団は、この間、一般質問や常任委員会、予算特別委員会

で、待機児の抜本的解消のために「認可保育所を建設すべき」「定員構成を改めよ」と追及。また不十分な「保育計画」の見直しを求めてきました。

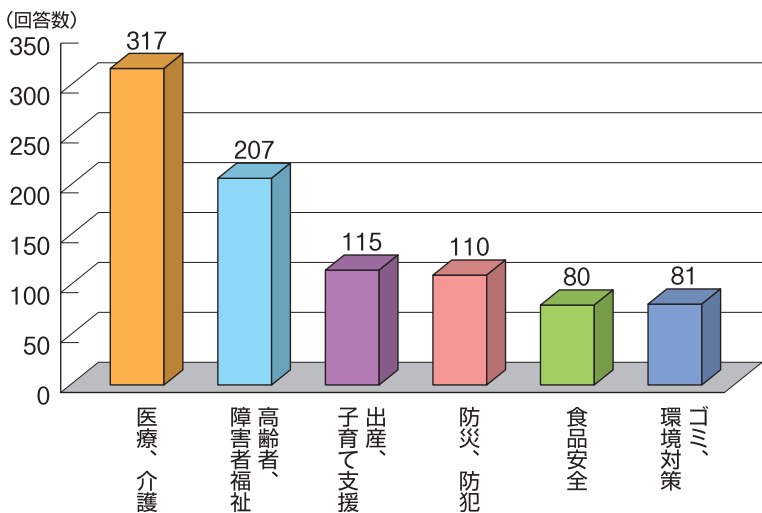
これにたいし区長は、「認可保育所の増設も検討する」と答弁。「保育計画」に盛り込まれることになりました。

日本共産党は、さらに待機児解消に全力を尽くします

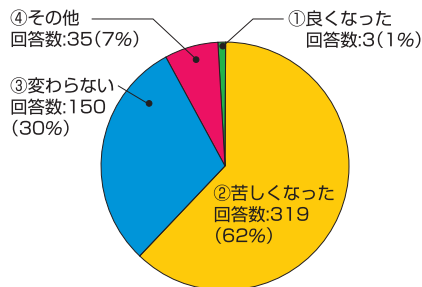
## 区民アンケートへのご協力ありがとうございました。

日本共産党区議団がおこなった区民アンケートに、短期間に516通の回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

(質問) 区政をはじめ、行政に力を入れてもらいたいことは何ですか？

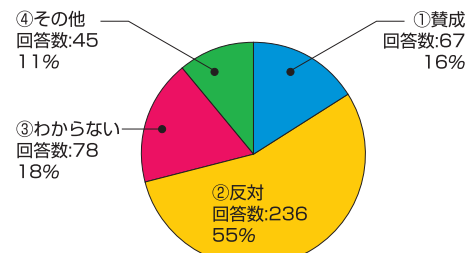


(質問) この1~2年であなたのくらしはどのように変わりましたか？



くらしが「悪くなった」が62%で、「良くなった」は1%。多くの方の生活が苦しくなっています。

(質問) 新庁舎が分譲マンションと一体となった再開発による手法で建設されることについてどう思いますか？



新庁舎建設計画を「知っている」が80%で、「知らない」が20%もいました。

再開発の手法による建設には「賛成」はわずか16%、「反対」は73%と圧倒的多数です。「わからない」が18%と圧倒的多数です。

区政などに望むこと(複数回答)では、上のグラフのように、「医療・介護」高齢者・障害者福祉」「出産・子育て」の順となっています。自由回答欄には、「高齢者の住宅を増やして欲しい」「地方税、社会保険料が高齢者に高すぎる」「高齢者にお風呂券を」「保育園の民営化は絶対にすべきではない」「何にせよ保育園が足りない」など切実な要求をよせていただきました。実現のため、全力をつくします。

# 命、くらし、福祉、営業

## を守る区政に

### 日本共産党奮闘

09年第1回  
定例区議会

第1回定例区議会が2月20日から3月27日の36日間の日程で開催されました。

日本共産党区議団を代表して、小林、儀武の両区議が一般質問にたち、区民にとって必要な介護、医療、住宅施策の充実を求めました。

予算特別委員会では、河野、小林、儀武の3議員が審議にあたり、最終本会議では儀武議員が討論をおこないました。

また、本会議初日、議長が日の丸掲揚を強行したことに対し、かきうち議員が不信任決議を提案しました。

#### 小林議員が一般質問



小林議員は、「深刻な行いました。

区民の実態を直視し、安心して豊島区に住みつづけられる予算に切り替え

区民の切実な要求に応えよ

よ」と題して一般質問を

区議団が行った区民ア

問うと、区は、住宅は余っているとして、新規の公営住宅建設に消極的でした。

#### 池袋副都心 グランドビジョン 及び新庁舎建設計画について

アンケートでは、生活が苦しくなったと答えた方は67.9%もいます。しかし、09年度予算では、区民生活の困難さ、中小企業の営業の深刻さに対応できていません。小林議員は、区長に対し現在の経済状況が区民生活に与えている深刻な状況の認識を質しました。

さらに、生活保護世帯が増えていることについてふれ、具体的に住宅対策について質問。「家賃の安い良質な住宅があれば、生活保護を受けずに住む人は多い。区が責任をもって区営住宅や高齢者住宅を建設すべき」と

また、新庁舎建設計画は急激な景気悪化による先行きの見通しが不確かなったことを指摘し、

高齢者の生活を支える施策について豊島区の特養ホームの待機者は千人を超えているが、4月から始まる介護保険計画に特養ホームの建設計画は入っていない。直ちに計画を立て、建設に着手すべき」と求めました。また、4月からの新しい要介護認定方式では軽度認定される可能性があり、実施延期を求めました。さらに、今の介護保険制度では十分な介護を受けられないので、区独自のホームヘルプサービスの実施を求めました。しかし、区はやる気がありません。

その他、介護報酬に関する問題や障害者に対する区独自の介護保険訪問サービスの軽減措置の復活などをとり上げました。

#### 儀武議員が一般質問



儀武議員は、「子どもから高齢者まで安心して暮らせる区政へ」と題し、一般質問を行いました。

#### 子育て支援、保育の抜本的拡充について

1月現在、保育園の待機児数は230人。景気の急速な悪化に伴い、保育園に子どもを預けて働く親が増えています。待機児を解消することは区の喫緊の課題です。

儀武議員は、「待機児解消のための『豊島区保育計画（素案）』はきわめて不十分、抜本的に見直すべき。また、東部地域で待機児が多いのが特徴、都営巢鴨母子アパート跡地等に、ただちに認

大幅な負担を押し付ける同制度は廃止すべき。国に求めよ」と質しましたが、区は拒否しました。また、「保険料滞納者から、医療を奪う資格証明書の発行は絶対にすべきではない」と追求しました。

#### 巢鴨地域のまちづくりと「(仮称)巢鴨四丁目計画」新築工事について

儀武議員は、「昨年の区道の一部廃止により、14階建の高層マンションの建築が可能となった。区の責任は重大。『巢鴨四丁目生活環境と景観を守る会』等は、8階建て25m以下の建築物の制限などを求めており、要望実現のため区は全力を尽くすべき」と質問しました。

#### 後期高齢者医療について

儀武議員は、「高齢者はもとより、現役世代にも後期高齢者医療支援金で

区は、「広い視野に立った街づくりに取り組み」などと、まともな答弁をせず、問題の論点をはぐらかす姿勢に終始しました。

# 主な条例・請願・陳情・意見書について

## 四面も参照してください

### 都立大塚病院は、 「都直営」のまま存続を

## 09年度予算 深刻な区民のくらしを 支える予算に転換せよ

09年度予算について次  
の理由で反対しました。  
① 深刻な状況の区民生活  
を支える予算になってい  
ません。保育園や学童ク  
ラブは待機児が増えてい  
ますが、新設等の具体的  
な解消策がない、区営・福  
祉住宅の建設計画がな  
い、生活保護世帯への入  
浴券60枚支給も復活しな  
い、義務教育の私費負担  
は増え続け、障害者入浴  
サービスの回数減等、サ  
ービスを低下させていま

す。緊急生活支援策の中  
の中小企業対策は不十分  
です。  
② 大型開発優先で区民の  
暮らしに不利益を及ぼし  
ています。後年度負担が大  
きく、他の施策を圧迫す  
るが、大型開発、LRT・東  
池袋再開発等を含む池袋  
副都心ブランドビジョン  
を進める予算です。

③ 予算枠配分方式や職員  
削減は続け、土地開発公  
社の借金を前倒して返済  
する方針であり、区民サ  
ービスの低下をもたらす  
ます。  
④ 特別会計では、資格証  
発行で医療の機会を奪う  
国保、差別医療と高い保  
険料を押し付ける後期高  
齢者医療、保険料は下が  
るがサービスが不十分な  
老人医療会計にも反対し  
ます。

## 「住民を無視した異常な契約」 掘之内人道橋の撤去は 「住民を無視した異常な契約」

掘之内人道橋（通称ど  
んどん橋）の撤去契約が、  
総務委員会で審査されま  
した。  
JRと4億783万円  
で随意契約し、来年の3  
月までに工事を行うとい  
う内容です。  
審査の中で、森議員の  
追及で、契約内容は「J  
R部分のみ」であり、東  
武部分は撤去しないこと  
が判明。区の提案理由は

「老朽化して危険」とい  
うものだったが、いつそ  
う危険な状況になりかね  
ない契約であることが明  
らかになりました。  
森議員がさらに追及し  
たところ、区は契約金額  
の根拠を明確に示せず、  
また「東武部分を別工事  
すると、一括契約に比べ  
るか財政調整基金の積立  
に1億3千万円計上し残  
高は60億円以上。さらに  
土地開発公社の繰上償還  
経費に13億円余を計上  
し、1年間の償還額合計  
は52億円にもなります。  
森議員は「施設管理運  
営経費等、必要な予算が  
含まれているが、積立や  
返済を優先するのではな  
く、福祉や子育て等を先  
に拡充すべき」と主張し  
て反対しました。

「都直営」のまま存続を  
と安全を守るためには東  
京都が都立病院のまま財  
政的にも支えていくこと  
が必要だ、大塚病院も医  
師が不足している、豊島  
区議会も意見書を出すべ  
きだとして、請願・陳情  
の採択を主張しました。

## 積立と借金返済に偏った 補正予算に反対

08年度の補正予算（第  
5号）が提案され、総務  
委員会で審査されました。  
世界経済の大混乱が日  
本にも大きく影響し、大  
企業は人員削減に奔走。  
区民生活はますます深刻  
であり、区の緊急対策が  
求められています。  
ところが、補正予算に  
緊急対策は全く盛り込ま  
れていません。それどこ

ろか財政調整基金の積立  
に1億3千万円計上し残  
高は60億円以上。さらに  
土地開発公社の繰上償還  
経費に13億円余を計上  
し、1年間の償還額合計  
は52億円にもなります。  
森議員は「施設管理運  
営経費等、必要な予算が  
含まれているが、積立や  
返済を優先するのではな  
く、福祉や子育て等を先  
に拡充すべき」と主張し  
て反対しました。

中小企業の経営安定化  
のための緊急融資制度を  
求める陳情について、小  
林議員は、他区では金利  
ゼロや保証料  
全額区負担の  
融資もある。  
困っている中  
小企業のため  
さらに融資を  
充実すべき」と  
採択を主張。自民、公

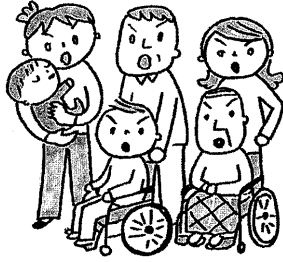
## 「融資制度充実を」の中小企業の願い 背をむける自民、公明、民主・区民

中小企業の経営安定化  
のための緊急融資制度を  
求める陳情について、小  
林議員は、他区では金利  
ゼロや保証料  
全額区負担の  
融資もある。  
困っている中  
小企業のため  
さらに融資を  
充実すべき」と  
採択を主張。自民、公

## 許せぬ 議場に日の丸掲揚を強行 区議会議長

区議会本会議場に日の  
丸掲揚が議長によって強  
行されました。  
議長は、自民党、公明  
党などの賛成多数で、国  
旗掲揚を求める請願が僅  
差ながら採択されたこと  
を口実にしています。し  
かし、日の丸に対する考  
えは、区民の間でも意見  
が二分しており、議員の  
多数決によって、議場に  
な汚点を残しました。

## サービス低下 ゆるさない



世界経済の大混乱が日  
本にも大きく影響し、大  
企業は人員削減に奔走。  
区民生活はますます深刻  
であり、区の緊急対策が  
求められています。  
ところが、補正予算に  
緊急対策は全く盛り込ま  
れていません。それどこ

ろか財政調整基金の積立  
に1億3千万円計上し残  
高は60億円以上。さらに  
土地開発公社の繰上償還  
経費に13億円余を計上  
し、1年間の償還額合計  
は52億円にもなります。  
森議員は「施設管理運  
営経費等、必要な予算が  
含まれているが、積立や  
返済を優先するのではな  
く、福祉や子育て等を先  
に拡充すべき」と主張し  
て反対しました。



区議会本会議場に日の  
丸掲揚が議長によって強  
行されました。  
議長は、自民党、公明  
党などの賛成多数で、国  
旗掲揚を求める請願が僅  
差ながら採択されたこと  
を口実にしています。し  
かし、日の丸に対する考  
えは、区民の間でも意見  
が二分しており、議員の  
多数決によって、議場に  
な汚点を残しました。

有楽町線 要町・千川駅

「準急通過全面廃止を求める要望書」東京メトロに提出

昨年6月、副都心線開通にともない、上下80本の準急が通過することになった要町・千川駅問題は、利用者や周辺の区民を中心に多数の不満が寄せられました。日本共産党区議団は、この問題をいち早く取り上げ、議会に東京メトロを呼ぶよう求めました。09年2月から開催されることになりました。

東京メトロは、議会に出席する当日に準急の本数を80本から20本に減便することを発表しました。しかしなぜ20本、準急を残すかの河野たえ子議員の質問に東京メトロは、明確に答えられず、京メトロに対し「準急通過廃止の要望書」が提出されることになりました。



○は可決（採択、不採択、継続）に賛成 ×は可決（採択、不採択、継続）に反対 ーは棄権

意見が分かれた主な議案	結果	主な会派			
		日本共産党	自民党豊島区議団	民主・区民	公明党
吉村辰明議長の議長不信任決議 中島義春副議長の副議長不信任決議	否決	○	×	×	×
大企業の違法行為による大量解雇を許さない緊急措置を求める意見書	否決	○	×	×	×
都営バス池86系統の増便を求める意見書	否決	○	×	×	×
豊島区特別区税条例（一部改正）	可決	×	○	○	○
豊島区国民健康保険条例（一部改正）	可決	×	○	○	○
池袋運輸区構内堀之内人道橋撤去工事委託契約について	可決	×	○	○	○
平成20年度豊島区一般会計補正予算（第5号）	可決	×	○	○	○
平成21年度一般会計予算、豊島区国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計予算	可決	×	○	○	○
大塚病院の都直営での存続を求める請願、大塚病院の医師・助産師・看護師を増員し、都直営での存続を求める陳情	継続審査	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成
豊島区「緊急経営安定化資金（仮称）」融資制度の創設を求める陳情	継続審査	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成

ご意見、ご要望をお寄せください

日本共産党豊島区議団

河野 たえ子



住所：西池袋 5-26-28  
電話：3957-2600  
党区議団長  
区民厚生委員会委員長

かきうち 信行



住所：南長崎 3-8-19  
電話：3950-3675  
党区議団幹事長  
子ども文教委員会委員

渡辺 くみ子



住所：高田 2-8-9-308  
電話：3971-1950  
都市整備委員会委員

小林 ひろみ



住所：高松 2-52-10  
電話：3955-8244  
党区議団副団長  
区民厚生委員会委員

儀武 さとる



住所：巣鴨 5-38-1  
電話：3918-9458  
党区議団副幹事長  
総務委員会委員

森 とおる



住所：西巣鴨 1-3-20-102  
電話：3940-6960  
総務委員会委員

池袋・渋谷間の都営バス、運行回数増便実現！

東京都は4月から都営バス池86系統の運行回数を池袋・渋谷間8往復、早稲田車庫行き5回を増便しました。地域住民は、07年に2度にわたり「副都心線開業でバスを廃止や減便し、池袋・渋谷間の都営バス、運行回数増便実現！」という都に要望して、08年副都心線開業と同時に東京都はバスの運行回数を5割も削減しました。改めて住民から増便を求める強い声が上がりました。区民等は継続審査としましたが、自民、公明、民主、森、渡辺くみ子議員は、住民とともに、都への署名活動や交通局への申し入れに取り組み、また昨年12月、区議会の一般質問で区長に「都に増便を強く求めるよう」求め、区は都に申し入れを実施してきました。住民と日本共産党との粘り強い運動で、今回の増便が実現しました。

ホームページもご覧ください。http://www.jcp-toshima.jp ☎(3981)1429